

令和2年度 甲府市多文化共生推進事業実績調査

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	令和2年9月末の進捗状況	令和3年3月末事業実績	達成率	課題・問題点	実施期間	対象者	対応言語	やさしい日本語	支援・関係団体等	担当課	委員からのご意見・ご質問等
基本目標1 行政情報提供の充実	(1) 保健・福祉・医療	1 国民健康保険等の案内	○国民健康保険制度の周知【情報提供】 外国人被保険者に多言語のチラシを提供し、国民健康保険制度に対する理解を図る。	職員はやさしい日本語での対応を心がけるとともに、日本語が理解できない方には、市民課受付係等の外国語を話せる職員との連携を図っている。 また、自治体国際化協会が作成したパンフレットは、多言語に対応しているため活用している。 配付数：32件 (英9、中6、韓1、ス1、ポ5、ベ3、タ1、ロ6)	職員はやさしい日本語での対応を心がけるとともに、日本語が理解できない方には、市民課受付係等の外国語を話せる職員との連携を図っている。 また、自治体国際化協会が作成したパンフレットは、多言語に対応しているため活用している。 配付数：227件 (英56、中99、韓2、ポ10、ス1、タイ13、ベト30、露8、インドネシア6、独1、仏1)	A	各国の医療制度の違いにより、日本の国民健康保険制度について十分な理解が得られない場合がある。	随時	甲府市在住の外国人	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・他	対応	配布パンフレットに(一財)自治体国際化協会の情報を活用	国民健康保険課	
			○外国人が受診しやすい体制の整備を図るため、集団健診会場に通訳対応職員を配置する。	集団健診日程のうち、これまでの実績から外国人受診者の来場が多いと見込まれる6/25、9/16、10/23に実施する3会場に通訳を配置する予定であった。しかし、6/25は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止とし、また9/16と10/23は感染対策を講じる必要性から集団健診の会場を健診機関へと変更して実施したことにより通訳対応職員の配置は取りやめた。	新型コロナウイルス感染症の影響により、健診の中止や会場変更を行ったため、当初予定していた通訳対応職員を配置する必要がなくなった。	評価不可	コロナ禍において外国人も安心して受診できる環境を整備するため、通訳対応職員の配置体制を整える必要がある。	随時	甲府市在住の外国人	英・中・韓	対応	検討中	国民健康保険課	
			○健診自体を知らない外国人が多く、健診を受診しない(できない)状況となっていることから、案内チラシの作成及び配布を検討するとともに、やさしい日本語会話・異文化体験サロンなどの機会を利用して直接外国人へのPRを行う。	新型コロナウイルス感染症の影響により、やさしい日本語会話・異文化体験サロンなどの開催が見合されており、直接外国人へのPRが未だできていない。	特定健診受診券の発送時に3か国語(英・中・韓)対応の受診案内チラシを同封した。今年度のやさしい日本語会話・異文化体験サロンは3密を避ける観点から国民健康保険課職員の参加を見送った。	B	健診内容や健診の必要性について、外国人へ直接PRする機会を作る必要がある。	随時	甲府市在住の外国人	英・中・韓	対応	検討中	国民健康保険課	
		2 介護保険等の案内	○介護保険のしくみ【情報提供】 介護保険証発送時に、多言語による介護保険のしくみについての説明書を同封し、制度の周知をする。	16人に同封	41人に同封	A	介護が必要となったときに適切に利用してもらうため、引き続き多言語による説明書を用意して制度の周知を続ける。	随時	65歳到達者・転入者	英・中(簡)・中(繁)・韓・ポ・ス	なし	市民課外国人相談窓口、配布パンフレットに(一財)自治体国際化協会の情報を活用	介護保険課	
		3 甲府市子育てガイドブック等の配布	○甲府市子育てガイドブック等の配布【情報提供】 妊娠、出産、出産費用、医療、健康相談、乳幼児期からの経済的支援、保育所と幼稚園の違いなどの情報提供を行う。また、相談窓口等の主要部分について、外国語に訳した資料を作成し添付する。	甲府市子育てガイドブック配布時に、相談窓口等の主要部分について、英・中・韓・ポ・スに対応した資料を、必要に応じて添付している。	甲府市子育てガイドブック配布時に、相談窓口等の主要部分について、英・中・韓・ポ・スに対応した資料を、必要に応じて添付している。	A	今後は翻訳された言語を活用していく。	適年	甲府市在住外国人	英(H30年度対応)中・韓・ポ・ス(H31年度対応)	なし	なし	子育て支援課	
		○健康づくり ①情報活性化モデル地区(新田地区)が開催する健康相談会への協力及び支援 ②国民健康保険の集団検診時における通訳者を派遣する。	①モデル地区において開催する「青空診療所」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、未開催の状況であった。 ②国民健康保険の集団健診については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止となった。9月には、集団健診の会場を健診機関へと変更して実施したが、通訳者の派遣は取りやめた。	①モデル地区において開催する「青空診療所」については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催しなかった。 ②国民健康保険の集団健診については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止となった。9月には、集団健診の会場を健診機関へと変更して実施したが、通訳者の派遣は取りやめた。	評価不可	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図る中で、事業の中止・延期・変更を検討する必要がある。	適年	①新田地区(貫川岡地桜ヶ丘自治会連合会) ②甲府市在住の外国人	①英・中・韓 ②英・中・韓音声通訳アプリ(全10言語:英・中・韓・インドネシア・タイ・ベトナム・ミャンマー・ポルトガル・フランス・スペイン)	対応	—	市民課		

令和2年度 甲府市多文化共生推進事業実績調査

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	令和2年9月末の進捗状況	令和3年3月末事業実績	達成率	課題・問題点	実施期間	対象者	対応言語	やさしい日本語	支援・関係団体等	担当課	委員からのご意見・ご質問等
(2) 学校教育	4	母子健康手帳の交付・健康診断や予防接種の問診票の交付	○甲府市民健康ガイドの予防接種ページ案内【情報提供】 外国人住民に英語によるチラシを提供し、正しい予防接種の知識を周知する。	必要に応じて英語によるチラシを渡して説明した。11件	必要に応じて英語によるチラシを渡して説明した。15件	A	なし	通年	甲府市在住外国人	英	なし	なし	医務感染症課	
			○予防接種予診票【情報提供】 外国人住民に多言語による予診票を提供し、適切に予防接種を受けられるようにする。予防接種の未接種者の把握を行い、訪問や健診の際に保健師が翻訳された資料等を利用しながら、未接種者への説明、支援を継続していく。	外国人転入者等に対し保護者の希望に応じて母国語等の予診票を渡した。12件	外国人転入者等に対し保護者の希望に応じて母国語等の予診票を渡した。18件	A	なし	通年	甲府市在住外国人	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・他	なし	なし	医務感染症課	
			○母子健康手帳【情報提供】 外国人住民に多言語による母子健康手帳を提供し、産前産後育児に役立てる。 ※本庁舎 子ども相談センターにおいても交付できる。	発行数22冊(英語:13冊 ベトナム語:4冊 中国語:3冊 ポルトガル語:2冊) ※R2年9月末現在 翻訳ソフト「ポイストラ」の配置があり、活用している。	発行数52冊(英語:26冊、ベトナム語:10冊、中国語:7冊、タガログ語・タイ語・ポルトガル語・インドネシア語:各2冊、スペイン語:1冊) 多言語による母子健康手帳を提供するとともに、翻訳ソフト「ポイストラ」の配置があり、活用している。	A	全く日本語が通じない外国籍の方が通訳なしで来所した場合、ポイストラだけでは説明が難しい内容がある。また、対応時間もかかり来所者の負担になっている可能性がある。	随時	甲府市在住の外国人世帯	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・ペ・イ	なし	なし	母子保健課	
			○乳幼児健診問診票【情報提供】 外国人住民に多言語による問診票を提供し、正しい問診ができるようにする。 ※3か月、1歳6か月、2歳児歯科、3歳	健診会場で外国語版問診票による問診を行うことに加え、翻訳ソフト「ポイストラ」の配置があり、活用している。	会場で外国語版問診票による問診を行うことに加え、翻訳ソフト「ポイストラ」の配置があり、活用している。	A	全く日本語が通じない外国籍の方が通訳なしで来所した場合、ポイストラだけでは説明が難しい内容がある。また対応時間もかかり来所者の負担になっている可能性がある。	随時	甲府市在住の外国人世帯	英・中・韓・ポ・ス	なし	なし	母子保健課	
	1	個別教育相談の実施	○児童、生徒、保護者との教育相談 児童、生徒、保護者との母語を話す日本語指導員等を介しての学校生活や進学等に関する教育相談	○学校の要請に応じ、母語を話す日本語指導員を通訳として派遣。(9月末までおよそ16回)	○小3校…10回(個別懇談、生徒指導等) 中5校…13回(個別懇談、進路指導等) 市教委…2回(就学相談、新入児保護者説明等) 全25回実施	A	言語が多様化しており、対応できない言語もある。特に最近ではベトナム語の依頼ケースが増えている。	随時	市立学校に在籍している外国籍の児童・生徒	英・中・韓・ポ・ス・タイ・他	—	山梨県教育委員会	学校教育課	
			○就学案内のチラシ(文部科学省)【情報提供】 外国人児童生徒のための就学ガイドブックの提供。その際、必要に応じて山梨子どもネットについても周知。	必要に応じて外国人の就学希望者等に配布	文部科学省の外国人児童生徒のための就学ガイドブックについては、概要版(文部科学省作成の各国語用)を窓口にて配布。山梨子どもネットについても、必要に応じて周知。	A	学事課窓口に来庁される時には、ある程度情報を持っていることが多く、学事課が最初の相談窓口になることは少ないため、初めからの周知の機会に限られる。	随時	甲府市在住の外国人世帯	英・中・韓・ポ・ス・他	なし	なし	学事課	
			○小中学校入学案内の発送 小中学校に入学する児童生徒の保護者に入学案内を送付。 ○入学案内を送付後、反応の無い世帯に対して家庭訪問を実施し、一条校への入学希望の有無や無い場合の就学先(インターナショナルスクールなど)の確認を行っている。	小中学校の入学手続きの案内文を該当する外国人世帯に発送予定	基準日現在で甲府市に住民票を置いている外国籍児童生徒のすべての対象世帯に入学案内を発送。 2021年度新小1: R2.10.5現在 対象27名 2021年度新中1: R2.10.5現在 対象28名	A	右記の対応言語では、案内の内容を理解できない世帯がある。	年1回	甲府市在住の外国人世帯	英・中(簡)・中(繁)・韓・ポ・ス	対応	なし	学事課	
	2	学校からの情報提供	○保健調査票等の配布 小中学校に在籍している児童生徒に対して保健関係諸用紙を配布	定期健康診断の際に配布	小中学校に在籍している児童生徒に対して、該当する言語で訳された保健調査票等を配布した。	A	右記の対応言語では、保健関係諸用紙を理解できない保護者がいる。	年間	児童・生徒およびその保護者	英・中(簡)・韓・ポ・ス	対応	なし	学事課	
			○外国語指導助手の招聘等 姉妹都市であるデモイン市及び県内在住の外国語指導助手を市立小・中学校、甲府商業高校へ配置することにより、児童・生徒への生きた英語学習機会を提供する。	○現地採用外国語指導助手の任用 12名 令和2年4月1日～令和3年3月31日 ○デモイン市からの外国語指導助手の招聘 3名 令和2年4月1日～令和2年7月31日	○現地採用外国語指導助手の任用 12名 令和2年4月1日～令和3年3月31日 ○デモイン市の外国語指導助手の招聘 2名 令和2年11月13日～令和3年3月31日 ○JETプログラムを活用した任用 1名 令和2年11月28日～令和3年3月31日	A	招聘者等においては、出入国制限により来日等に支障が生じることから、現地教育委員会や大使館等と適宜連絡を取り合い、情報収集に努める。	通年	市立学校に在籍している児童・生徒	英	—	デモイン市教育委員会 クレア(JETプログラム国委託機関)	学校教育課	
			○センター校配置教諭5名が、日本語指導が必要な児童生徒87名を週117時間指導。 ○市が委嘱した日本語指導員9名が、初期の日本語指導が必要な児童生徒を中心に28名を週40時間指導。	○センター校配置教諭5名が、日本語指導が必要な児童生徒93名を週120時間指導。 ○市が委嘱した日本語指導員9名が、初期の日本語指導が必要な児童生徒を中心に32名を週43時間指導。	国の算定基準は満たしているが、移動も多く併うため、実際1人の児童生徒に1時間程度しか指導ができない現状である。転入がある度に時間割編成を工夫して取り組んでいる。	A	通年	市立学校に在籍している外国籍の児童・生徒	英・中・韓・ポ・ス・タイ・他	—	山梨県教育委員会	学校教育課		
	3	多文化共生・国際理解教育の推進	○児童・生徒への日本語指導 日本語指導センター校配置教諭、母語を話す日本語指導員による日本語指導	○センター校配置教諭5名が、日本語指導が必要な児童生徒87名を週117時間指導。 ○市が委嘱した日本語指導員9名が、初期の日本語指導が必要な児童生徒を中心に28名を週40時間指導。	○センター校配置教諭5名が、日本語指導が必要な児童生徒93名を週120時間指導。 ○市が委嘱した日本語指導員9名が、初期の日本語指導が必要な児童生徒を中心に32名を週43時間指導。	A	国の算定基準は満たしているが、移動も多く併うため、実際1人の児童生徒に1時間程度しか指導ができない現状である。転入がある度に時間割編成を工夫して取り組んでいる。	通年	市立学校に在籍している外国籍の児童・生徒	英・中・韓・ポ・ス・タイ・他	—	山梨県教育委員会	学校教育課	
			○児童・生徒への日本語指導 日本語指導センター校配置教諭、母語を話す日本語指導員による日本語指導	○センター校配置教諭5名が、日本語指導が必要な児童生徒87名を週117時間指導。 ○市が委嘱した日本語指導員9名が、初期の日本語指導が必要な児童生徒を中心に28名を週40時間指導。	○センター校配置教諭5名が、日本語指導が必要な児童生徒93名を週120時間指導。 ○市が委嘱した日本語指導員9名が、初期の日本語指導が必要な児童生徒を中心に32名を週43時間指導。	A	国の算定基準は満たしているが、移動も多く併うため、実際1人の児童生徒に1時間程度しか指導ができない現状である。転入がある度に時間割編成を工夫して取り組んでいる。	通年	市立学校に在籍している外国籍の児童・生徒	英・中・韓・ポ・ス・タイ・他	—	山梨県教育委員会	学校教育課	

令和2年度 甲府市多文化共生推進事業実績調査

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	令和2年9月末の進捗状況	令和3年3月末事業実績	達成率	課題・問題点	実施期間	対象者	対応言語	やさしい日本語	支援・関係団体等	担当課	委員からのご意見・ご質問等
(3)	防災・安全	1 防災情報の提供	○わが家の防災マニュアル【情報提供】 「わが家の防災マニュアル外国語版」を市民課へ設置。(転入者等へ配付)	配布数 約20部	配布数 約40部	A	転入者への配布が主になるため増刷や改訂版作成時に部数の見込みを立てることが困難である。	通年	甲府市への外国人転入者及び甲府市在住の外国人	英・中・韓・ポ・タガログ	対応	なし	防災企画課	
			○「アプリ」や「甲府市防災ポータル」など、防災情報を取得できるツールをはじめ、災害への備えや避難行動など、防災情報を提供する機会を創出し、いざという時の避難行動へ繋がるよう取り組む。【情報提供】	「アプリ」や「甲府市防災ポータル」など、防災情報を取得できるツールについては、広報やHP内、ラジオ等で周知を行っている。防災教室については新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、今年度は中止とした。	「アプリ」や「甲府市防災ポータル」などは、広報やHP内、ラジオ等で周知を行っている。防災教室については新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、今年度は中止とした。	A	いざというときに、適切な避難行動を取っていただけるよう、粘り強く取り組んでいく必要がある。	通年	甲府市在住の外国人ほか	ツールについては、英・中・韓	—	なし	防災企画課	
			○甲府市洪水ハザードマップの英語版、中国語版、韓国語版を窓口等に設置。	各窓口センターをはじめ、関係機関(県国際交流協会等)、公立図書館、公立・私立大学、日本語学校へ設置(配布依頼)した。	設置先の充足状況を確認し、不足の生じそうな箇所には補充を行った。	A	県から貫川と鎌田川の浸水想定区域が新たに示されたことから、これらを反映したマップの作成と、内容についてもやさしい日本語化の対応について検討する必要がある。	(平成31年度にマップ作成を完了し)H32年度より設置(配布)を行う	甲府市在住の外国人	英・中・韓	なし	なし	防災企画課・道路河川課	
	2 生活安全情報の提供	外国人留学生と日本の大学生及び自主防犯ボランティア団体の安全安心合同パトロールの実施	—	外国人留学生と日本の大学生及び自主防犯ボランティア団体の安全安心合同パトロールを12/18に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況から中止となった。	評価不可	新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、実施について慎重な判断が必要である。	随時	甲府市在住外国人	なし	なし	警察・山梨学院大学・ユニタス・自主防犯ボランティア団体	危機管理課		
(4)	地域活動・市民生活	1 自治会への理解・加入案内	○継続した情報の提供 市民課と連携し、やさしい日本語版や外国語版のチラシの配布を通じ、自治会活動への理解や加入促進に努める。	やさしい日本語版や外国語版のチラシを市民課へ設置するとともに、転入者には市民課においてチラシの配布を行っている。	やさしい日本語版や外国語版のチラシを配布し、自治会活動への理解や加入促進につとめると共に、「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」にて自治会加入促進について説明を行った。	A	自治会活動への理解を深めてもらい、外国人の加入へ繋がるよう、継続した周知活動を行っていく必要がある。	通年	甲府市在住の外国人	英・中・韓・ポ・ス	対応	市民課	協働推進課	
		2 ゴみの出し方の案内	○ごみの出し方【情報提供】 外国人住民に、全面改訂した多言語による「ごみの分け方・出し方」の冊子を提供し、ごみの正しい出し方の周知を図る。	環境センター、市政情報コーナー、転入受付窓口等で随時配付	環境センター、市政情報コーナー、転入受付窓口等で随時配付	B	外国語版冊子を必要とする方に配布することができるよう、環境センター、市政情報コーナー、転入時受付窓口等を利用して継続して周知を図っていく必要がある。	随時	甲府市在住の外国人世帯	英・中・韓・ポ・ス・タイ・他	なし	減量課	減量課	

令和2年度 甲府市多文化共生推進事業実績調書

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	令和2年9月末の進捗状況	令和3年3月末事業実績	達成率	課題・問題点	実施期間	対象者	対応言語	やさしい日本語	支援・関係団体等	担当課	委員からのご意見・ご質問等
(5) 情報提供・相談		1 生活関連情報の提供	○甲府市外国人生活ガイドブック【情報提供】 甲府市に住む外国人向けに、さまざまな手続きや知識を掲載し、情報提供に努める。	・新たにベトナム語版を作成し7言語とした「甲府市外国人生活ガイドブック」について、冊子とともにQRコード付き多言語版のチラシを外国人相談窓口へ設置している。 また、市ホームページへガイドブック(7言語)を掲載した。 ・外国人の転入手続きの際にガイドブック、「ゴミの出し方」(いずれもQRコード付多言語版のチラシ)、自治会加入へのお誘いチラシ(日・英・ポ・韓・ス・中)を配布している。 ・ゴミの出し方のQRコード付多言語版のチラシを各窓口センターに設置し、在住している外国人に対して情報提供している。	・新たにベトナム語版を作成し7言語とした「甲府市外国人生活ガイドブック」について、冊子とともにQRコード付き多言語版のチラシを外国人相談窓口へ設置している。 また、市ホームページへガイドブック(7言語)を掲載した。 ・外国人の転入手続きの際にガイドブック、「ゴミの出し方」(いずれもQRコード付多言語版のチラシ)、自治会加入へのお誘いチラシ(日・英・ポ・韓・ス・中)を配布している。 ・ゴミの出し方のQRコード付多言語版のチラシを各窓口センターに設置し、在住している外国人に対して情報提供している。	A	今後も情報提供を継続する。	通年	甲府市在住の外国人	英・中・韓・ポ・ス・日	対応	—	市民課	
		2 やさしい日本語や多言語を用いた行政情報の提供	○多言語対応 48事業 ○やさしい日本語 26事業 ※項目の対応言語・やさしい日本語による		「市税のしおり(多言語版)」を英語・韓国語・中国語で作成	—	設置場所等有効な活用方法	通年	甲府市在住の外国人	—	—	—	各課	
		3 ホームページによる行政情報の提供	○やさしい日本語での対応を的確に翻訳されるよう努める。 ○ホームページの多言語への対応(自動翻訳や音声読上げ)	・コロナ禍でのさまざまな情報をわかりやすいやさしい日本語対応での提供に努めた。	多言語翻訳や多言語音声読み上げ機能に正確に対応できるようなやさしい日本語での情報提供に努めた。	A	次年度のホームページリニューアルにおいては、多言語への対応を図ること。	通年	外国人	翻訳:英・中(簡体字、繁体字)韓国・ポルトガル・スペイン・フランス・タイ・ヒンディ・インドネシア・ベトナムの11言語。 音声読上げ対応:翻訳対応言語のうち、中(繁体字)・インドネシア・ベトナムを除く8言語。	対応	なし	情報発信課	
		4 相談窓口の設置	○外国人相談コーナーの設置 ①外国人とその家族等を対象に、英語・韓国語・中国語を話せる3名の嘱託職員を配置するとともに、その他の多言語に対応するため音声翻訳システムを活用し、日常生活における相談に対応していく。 ②就学相談は、学校教育課と連携し不学児童・生徒が生じないように努める。	①在留手続き等の通常の相談と合わせ、特別定額給付金等の申請手続きなど、新型コロナウイルス感染症に関連した相談に対応した。 ②教育・進学相談等で教育委員会からの要請がある場合、通訳を行い、連携を図っている。	①在留手続き等の通常の相談と合わせ、特別定額給付金等の申請手続きなど、新型コロナウイルス感染症に関連した相談に対応した。 ②教育・進学相談等で教育委員会からの要請がある場合、通訳を行い、連携を図っている。	A	特になし	通年	①甲府市在住の外国人 ②甲府市在住年齢の外国人及び保護者	①②英・中・韓音声通訳アプリ(全10言語:英・中・韓・インドネシア・タイ・ベトナム・ミャンマー・ポルトガル・フランス・スペイン)	対応	①なし ②学校教育課	市民課	
		5 税・料の納付相談等	○外国人のための保険料納付相談 甲府市在住の外国人においては、制度が理解できない為、保険料が滞納となるケースも出てきている。このため個々の世帯の生活状況に応じた納付指導を行っている。	やさしい日本語での対応を心がけるとともに、翻訳システム等を活用しながら、市民課との連携を図り納付相談を行った。 相談件数:238件 また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う減免申請に係る英語・韓国語の案内を職員が自作し周知を図った。	やさしい日本語での対応を心がけるとともに、市民課との連携を図り納付相談を行った。 相談件数:483件 また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う減免申請に係る英語・韓国語の案内を職員が自作し周知を図った。	A	相談は必要に応じてであり、目標を設定しにくい。	随時	国民健康保険料を滞納している外国人	英・中・韓・ポ・ス・タイ・タ・他	対応	市民課外国人相談窓口	国民健康保険課	
			○外国人のための保険料納付相談 介護保険制度が理解できない為、介護保険料を滞納するケースが生じている。このため、制度の理解を図り、個々の生活状況に応じた納付指導を行っている。	納付相談件数(電話・来庁) 13件	納付相談件数(電話・来庁) 24件	A	介護保険制度を理解していただけるよう、個々の状況に応じたきめ細やかな対応を心がけている。	随時	介護保険料を滞納している外国人	英・中・韓	なし	市民課外国人相談窓口	介護保険課	
			○外国人のための保険料納付相談 甲府市在住の外国人においては、制度が理解できていないため、保険料が滞納となるケースがある。	納付相談0件	納付相談は随時受け付けているものの、納付相談実績0件。	A	相談は必要に応じてであり、目標を設定しにくい。	通年	後期高齢者医療制度被保険者	英・中・韓	なし	市民課外国人相談窓口	高齢者福祉課	
			滞納者の日本語の理解度に応じてわかりやすい日本語の使用を行う。	やさしい日本語での対応を心がけ、個々の世帯の生活状況に応じた相談、納付指導を行った。	やさしい日本語での対応を心がけ、個々の世帯の生活状況に応じた相談、納付指導を行った。	A		随時	滞納者	英・中・韓・ポ・ス	対応	検討中	滞納整理課	
		○外国人滞納者への納付指導 やさしい日本語での対応を取りながら、各世帯の生活状況に応じた納付指導を行っている。	やさしい日本語での対応を心がけ、個々の世帯の生活状況に応じた相談・納付指導を行っている。 また、入居後日本人住民とのトラブルを減らすよう、入居申込や入居前の部屋見せ時に渡す資料等について多言語化(英・中・韓・やさしい日本語)したものを作成した。	やさしい日本語での対応を心がけ、個々の世帯の状況に応じた相談・納付指導を行った。 また、入居希望者で、多言語化(英・中・韓・やさしい日本語)した資料等を使い、やさしい日本語での説明が難しい場合は、市民課の外国人相談担当職員に同席してもらい対応した。	A	制度を理解してもらおうが難しく、多言語への対応が必要と思われるが、外国語が使える職員がいないため、市民課の外国人相談担当職員に依頼し、外国人入居者及び入居希望者に対応している。	随時	住宅使用料を滞納している外国人 入居希望の外国人	英・中・韓	対応	市民課外国人相談窓口	住宅課		
		○水道料金等の使用開始申込の促進 給水区域内に住む外国人向けに、使用開始手続きを促進するチラシを配布する。	無届で水道を使用している外国人に対し、水道契約の必要性を案内することができた。	無届で水道を使用している外国人に対し、水道契約の必要性を案内することができた。	A	なし	通年	給水区域内に在住の外国人	英・ポ・中・韓	なし	なし	営業課		

令和2年度 甲府市多文化共生推進事業実績調査

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	令和2年9月末の進捗状況	令和3年3月末事業実績	達成率	課題・問題点	実施期間	対象者	対応言語	やさしい日本語	支援・関係団体等	担当課	委員からのご意見・ご質問等
基本目標2 協働の促進	(6) 多文化共生に向けての社会参加促進	1 市政に対する意見等の促進	○継続した情報の提供 市民課と連携し、やさしい日本語版や外国語版のチラシの配布を通じ、市政への意見制度について周知に努める。	「市長への手紙」や「市民の声ご意見箱」の制度について、やさしい日本語版や外国語版のチラシの設置を市民課にて継続して行っている。	「市長への手紙」や「市民の声ご意見箱」の制度について、やさしい日本語版のチラシを外国語版と併せて市民課へ設置すると共に、「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」にて説明を行った。	A	制度への理解を深め、利用していただけるよう継続した周知活動を行っていく必要がある。	通年	甲府市在住の外国人	英・中・韓	対応	市民課	協働推進課	
		2 防災・防犯活動への参加促進・意識啓発	1 大学などの学生や市内に居住する外国人を対象とした防災講話を実施予定 2 甲府市総合防災訓練への参加を促す。	10月に実施される「留学生のための防災教室」の開催準備を進めた。	1 大学の学生や市内に居住する外国人を対象に、防災教室を2回開催し、31名の外国人留学生等に研修を行った。 2 総合防災訓練は新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小して実施し、外国人を含めた一般市民の参加を見合わせた。	B	防災教室や防災訓練への積極的な参加を促し、外国人市民等の防災意識や知識の更なる向上を図る必要がある。	1年	大学等の生徒、甲府市に居住する住民	多言語	対応	1 大学、国際交流センター 2 自治会	防災指導課	
		3 多文化共生関連の講座・研修	○日本で生活する外国人のための「日本語・日本文化講座」を山梨県立大学に委託し実施する。	新型コロナウイルス感染症の県内の感染状況に鑑み、その感染拡大防止のため、同大学がオンラインによる遠隔授業を中心とされ、大学施設の貸出も中止とされたことから、担当者と協議の上、同講座の前期の開催を見送り、後期の開催に向けて調整した。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催しなかった。	評価不可	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図る中で、事業の中止・延期・変更を検討する必要がある。	通年	甲府市在住・在勤・在学の外国人	—	対応	—	市民課	
			○「やさしい日本語サロン」（日本語・中国語講座） モデル地区住民が講師となる日常会話の講座を支援する。 (平成30年度から主催は地区、市は支援)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業未開催の状況であった。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催しなかった。	評価不可	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図る中で、事業の中止・延期・変更を検討する必要がある。	通年	新田地区の住民（モデル地区）	英・中・韓	対応	新田地区	市民課	
4 留学生等に向けた合同企業説明会の開催	○「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」 外国人相談員が進行役となり、日常会話・日本文化を体験する。 ①定期実施 ②外国人労働者を対称とした出前講座を開催する。	①②新型コロナウイルス感染症の県内の感染状況に鑑み、その感染拡大防止のため、上半期の開催を見送り、下半期の開催に向けて調整した。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業規模を縮小し防災教室1回を開催した。	評価不可	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図る中で、事業の中止・延期・変更を検討する必要がある。	①通年 ②随時（年1回以上）	甲府市在住・在勤・在学の外国人（日本人も可）	英・中・韓	対応	①なし ②市内企業に勤務する外国人住民	市民課			
	○外国人（主に留学生）と市内企業の雇用にかかるマッチング機会を創出し、市内企業への就職を促進する。	10月28日の開催に向け、準備中である。	ハローワーク甲府管内の5市1町の共催による就職ガイダンスを10月28日に総合市民会館で開催した。参加者数31名、参加企業17社、就職内定者数1名であった。	A	コロナ禍により、参加者及び参加企業が少なかったことから、就職内定者数を含め、参加者及び参加企業数の増加に努める。	随時	留学生や外国人全てに対応	日本語※チラシは、英、中(簡)、ポで対応した。	対応	ハローワーク甲府、ハローワーク甲府管内4市1町	雇用創生課			
(7) 多文化共生のための人材育成と人材活用	1 人材育成研修・講座の支援	○市役所職員のための「やさしい日本語講座」 外国人・日本人ともにわかりやすい日本語で接遇することを目標に職員を対象に実施する。(隔年)	隔年開催のため今年度は開催予定なし。	隔年開催のため今年度は開催予定なし。	—	特になし	隔年	甲府市職員	なし	対応	一般財団法人自治体国際化協会	市民課		
	2 多文化共生のための人材活用	○多文化共生リーダーの育成 「やさしい日本語会話・異文化体験サロン」における各種体験等を通して多文化共生のリーダーを育成していく。 ①定期実施 ②出前講座	①②新型コロナウイルス感染症の県内の感染状況に鑑み、その感染拡大防止のため、上半期の開催を見送り、下半期の開催に向けて調整した。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業規模を縮小し防災教室1回を開催した。	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図る中で、事業の中止・延期・変更を検討する必要がある。	①通年 ②随時（年1回以上）	甲府市在住・在勤・在学の外国人（日本人も可）	英・中・韓	対応	①なし ②市内企業に勤務する外国人住民	市民課		
(8) 日本語の学習・文化の学び	1 「日本語・日本文化講座」等開催情報の提供	○情報の提供 甲府市の各関係機関の窓口へやさしい日本語や多言語化したパンフレットを設置するとともに、様々な機会を捉えてPRする。	事業自体の開催が見送られたため、実施していない。	事業自体の開催が見送られたため、実施していない。	評価不可	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図る中で、事業の中止・延期・変更を検討する必要がある。	随時	甲府市在住の外国人	英・中・韓・ポ・ス	対応	—	市民課		
	2 図書館・公民館での日本語学習関連教材の充実	【情報提供】 日本語学習に関連した所蔵資料の利用・貸出等	関連図書を購入を行い、配架を行った。 購入冊数 12冊	選書基準に照らし71冊の関連書籍を購入。	A		随時	図書館利用者	英・中 他	なし	なし	図書館		

令和2年度 甲府市多文化共生推進事業実績調査

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	令和2年9月末の進捗状況	令和3年3月末事業実績	達成率	課題・問題点	実施期間	対象者	対応言語	やさしい日本語	支援・関係団体等	担当課	委員からのご意見・ご質問等		
基本目標3 国際化への対応	(9)	国際交流の推進	1 姉妹・友好都市等との交流事業の推進	○姉妹・友好都市等との交流事業 国際親善の一環として、1958年(昭和33年)8月にアメリカ合衆国アイオワ州デモイン市、1961年(昭和36年)4月に同国カリフォルニア州ロダ市、また、1975年(昭和50年)8月にフランス共和国アキテーヌ州ピレネー・アトランティック県ボー市、そして、1984年(昭和59年)9月に中華人民共和国四川省成都市と姉妹・友好都市の締結を行うとともに、2002年(平成14年)の9月には大韓民国忠清北道清州市と気兼ねなく交流が図れる友情都市を締結し、国際理解を深めている。	山梨県・四川省友好交流35周年事業に伴い、四川省成都市を訪問する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった。	・令和3年2月8日 デモイン市からの種豚寄贈から60周年を記念し、豚のぬいぐるみ60個、毛糸の帽子90個、アイオウと山梨の物語の本20冊を受贈した。ぬいぐるみ・帽子は市立甲府病院の入院している子ども達に贈り、絵本は図書館、公民館、児童館に配付した。 ・令和3年3月17日 甲府市からお礼として贈った医療用ガウン240着がデモイン市に到達した。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、大和郡山市と協議し、例年参加していた大和郡山お城まつりについては、参加を見送った。	B	相互に訪問する形での交流は依然難しい状況であることから、オンライン等を活用し、交流が絶えないよう努めていく必要がある。	随時	姉妹・友好都市等	英・仏・中・韓	—	事業内容に応じた関係部署等	秘書課		
			2 海外姉妹校児童・生徒との交流の推進	○姉妹・友好都市との交流 国際性豊かな視野の広い青少年の育成と姉妹都市等との交流を図ることを目的に、姉妹都市デモイン市、及び友好都市成都市と海外研修派遣事業及び受入事業を実施している。 令和2年度は、成都市へ海外研修派遣団を派遣し、成都市から教育交流派遣団の受入を行う予定である。	○感染症予防に伴い事業中止	○感染症予防に伴い事業中止	評価不可	出入国制限により事業の開催が困難となることから、現地教育委員会と適宜連絡を取り合い、情報収集に努める。	随時	市立中学生・甲府商業高校生	英・中	—	デモイン市教育委員会 成都市教育委員会	学校教育課		
			3 食の異文化交流会	○食の異文化交流会 外国人留学生と市民との、食を通じた異文化交流会を開催する。	新型コロナウイルス感染症拡大により、毎年11月に開催予定の食の異文化交流会は開催を見送った。	新型コロナウイルス感染症拡大により、11月の交流会に続き、2月に開催予定だった交流会も開催を見送った。	評価不可	大人数が集まってる調理、食事という内容となるため、感染状況を注視し、開催判断をしていく必要がある。	年2回	甲府市在住又は甲府市の学校に通っている留学生	—	対応	山梨県女性のつばさ連絡協議会こうふ支部会	秘書課 (国際親交委員会)		
			4 学生レポーター(留学生)による情報の提供	○留学生レポーターによるブログの発信 市内大学等に在籍する留学生を留学生レポーターに委嘱し、日本語と母国語でブログ記事を作成し、情報発信していただく。 ○やさしい日本語対応に努める。	留学生レポーター登録：6名 新型コロナウイルス感染症の影響で来日できない学生がいたり、授業自体をオンラインで行っているなどの理由から、例年より登録者数が少なく、魅力発見ツアーなども開催できていないが、国際交流課や記念事業課と連携しながら、地域の方と触れ合いながら甲府の歴史や地域に触れる場を提供している。 参加した感想や甲府の魅力などを、SNSで発信してもらっている(母国語、日本語)。	留学生レポーター登録：7名 ・3月末までに、留学生によるブログを1本作成していただいた。 新型コロナウイルス感染症の影響で魅力発見ツアーなども開催できなかったが、国際交流課や記念事業課と連携しながら、イベントなどに参加してもらい、地域の方と触れ合いながら甲府の歴史や地域に触れる場を提供した。 イベントに参加した感想や甲府の魅力などを、SNSで発信していただいた(母国語、日本語)。	B	新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの減少、魅力発見ツアー未開催など、留学生レポーターに甲府の魅力を伝える場が減ってしまっている。	毎年	大学等に在籍する留学生	留学生の対応できる言語	対応	県内大学、専門学校	情報発信課		
			5 2020東京オリンピック・パラリンピック事前合宿推進事業	○コロナウイルスの影響により、東京2020オリンピック・パラリンピックが延期となった。来年の開催に向け、フランス卓球・レスリング連盟との連絡調整を行うとともに、オリンピックを契機とした今後の交流事業等を検討していく。	2021年のオリンピックの開催に向け、フランス卓球・レスリング連盟と協議するとともに、競技種目・受入れ自治体ごとの新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインの策定へ向けて準備を進めている。	2021年のオリンピックの事前合宿受入れに向け、フランス卓球・レスリング連盟とスケジュール等を協議するとともに、競技種目・受入れ自治体ごとの新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインの策定を行っている。	B	新型コロナウイルスの拡大状況が刻一刻と変化していく中で、ガイドラインの見直しが多々あり、対応に苦慮している。	随時	フランス卓球・レスリングチームの関係者	フランス語	—	なし		国際交流課	
			6 国際交流員の活用	フランス人の国際交流員による、放課後児童クラブ等での遊びによる異文化体験の実施。	新型コロナウイルス感染症拡大により、出前講座等の講演については、実施できなかったが、SNS等を通じて本市の観光情報のPRを行った。	新型コロナウイルス感染症拡大により、出前講座等の講演については、感染症対策を行いながら、実施した(18回)。また、SNS等を通じて本市の観光情報のPRを引き続き行った。	A	感染症拡大状況により、講座等の実施が困難となる場合が見受けられる。	8月以降随時	未就学児～小学生	フランス語 英語	—	なし		国際交流課	
			7 留学生と高校生との交流会	市内4大学の留学生と市内高校生によるイベント等を通じた交流を行う。	留学生と高校生の交流イベントについては、新型コロナウイルス感染症の状況を見据えながら開催内容を検討していく。	新型コロナウイルス感染症拡大により、例年行ってきた歴史探訪については、参加者制限を行うなか、記念事業課とタイアップし、地域住民との信玄公ゆかりの地を巡る散策会を行った。(新型コロナウイルス感染症対策のため市内高校生は不参加)	B	新型コロナウイルスの拡大状況により、大学の留学生の受け入れが困難となっている。	随時	市内外国人留学生・市内高校生	多言語	—	なし		国際交流課	

令和2年度 甲府市多文化共生推進事業実績調査

基本目標	施策	事業名 (具体的な施策)	具体的な内容等	令和2年9月末の進捗状況	令和3年3月末事業実績	達成率	課題・問題点	実施期間	対象者	対応言語	やさしい日本語	支援・関係団体等	担当課	委員からのご意見・ご質問等
10	まちなか情報の多言語化	1 公共施設・生活関連施設の多言語化促進	○宝石の街甲府のPR「KOFU NO KIRAMEKI MAP」の配布 中心市街地のジュエリー関連店舗を紹介するマップを配布。観光客等に中心市街地を回遊してもらい、活性化を図る。 ○公共サイン計画の推進 甲府市が設置する公共サインにおける多言語表記と表記基準の統一化を図る。	令和2年8月20日に業務委託契約を交わした。 掲載店舗へ記事の修正意向の聞き取りを行い、印刷会社とデザイン校正等の調整を行っている。	掲載企業、関係団体に配布済み (配布部数：1,900部)	A	多言語版を作ったが活かされているかがわからない。多文化担当が把握している、効果的な配布先を教えてください。	通年	外国人観光客および県外からの観光客	中国語、英語	検討	特になし	商工課	
		2 多言語での外国人向け観光情報の発信	①甲府市観光案内所における多言語対応 甲府市観光案内所において、英・中(繁)・中(簡)に対応できる職員による案内対応及び、無料Wi-Fiやタブレット端末(3社間通話や翻訳アプリ搭載)を活用し、外国人観光客の利便性の向上に努める。 ②多言語での情報発信 外国人観光客への情報発信について、ターゲットを踏まえ、ニーズに沿った発信方法や媒体を検討していく。 ③JNTO(日本政府観光局) 平成29年度より加盟しているJNTOに対して、多言語による本市の観光情報を提供し、JNTOのSNS等で配信する。	①観光案内所における外国人案内人数は、56人である。(8月末時点) ②新たな情報発信手段について検討中である。 ③掲載依頼件数は6件である。	①観光案内所における外国人案内人数は115人である。 ②観光スポットの案内看板の多言語化を図った。武田二十四将屋敷跡案内看板 22基 ③掲載依頼件数は10件である。	B	②外国人観光客への情報発信については、旅前として冊子やWebを、旅中として案内看板や観光スポットの掲示物等による発信を偏りなく、バランス良く整備していく必要がある。	通年	外国人観光客	英語外	なし	①(一社)甲府市観光協会 ③JNTO	観光課	
		3 無料公衆無線LAN環境の整備促進	○無料公衆無線LAN(Wi-Fi)整備推進事業 市内を訪れる外国人観光客のサービス・利便性の向上を図ることを目的に、公衆無線LAN(無料Wi-Fi)の整備を推進する。	Wi-Fi設置箇所は、276箇所である。	Wi-Fi設置箇所は、277箇所である。	B	既に協力を得ることの出来る主な観光施設等は設置しており、新規設置数は4件であった。なお、新規設置については、令和2年度で終了し、令和3年度以降は保守管理をしていく。	通年	外国人観光客	①ソリユーション(主要観光施設4台)・・・日・英・中(繁)・中(簡)・韓、インドネシア ②①以外・・・日・英	—	NTT東日本 山梨支社	観光課	
11	推進体制の整備	1 委員会の設置	甲府市多文化共生推進委員会の設置 ○「甲府市多文化共生推進計画2016」に掲げた事業の推進状況等について評価・検証を行い、着実な計画推進を図る。	委員の委嘱を含め3回開催。 (6/29、7/31、9/24)	委員の委嘱を含め4回開催。 (6/29、7/31、9/25、11/10)	A	特になし	1年：4回	—	—	—	—	市民課	
		2 庁内連絡会議の設置	甲府市多文化共生推進計画2021の新たな計画づくりに向けた検討を行う。	委員の委嘱を含め3回開催。 (6/29、7/31、9/24)	委員の委嘱を含め4回開催。 (6/29、7/31、9/25、11/10)	A	特になし	1年：4回	—	—	—	—	市民課	
		3 市民、ボランティア団体、関係機関等との連携	甲府市多文化共生庁内連絡会議の設置 「甲府市多文化共生推進計画2016」に掲げた事業の推進状況等について調査・研究を行い、着実な計画推進を図る。	①庁内連絡会議：1回(6/26) ②ワーキンググループ：1回(7/15)	①庁内連絡会議：2回(6/26、11/5) ②ワーキンググループ：2回(7/16、11/4)	A	特になし	1年：4回	—	—	—	—	市民課	
12	拠点の整備	1 情報発信拠点の整備	○情報発信拠点 各担当課や関係諸機関等と連携し、実施している多文化共生施策や活動の情報収集を行い、やさしい日本語や多言語化で外国人市民への情報発信拠点とする。	出入国在留管理庁等の情報など、新型コロナウイルス感染症に関連する文書等を相談窓口において発信した。 発信回数：3回	出入国在留管理庁等の情報など、新型コロナウイルス感染症に関連する文書等を相談窓口において発信した。 発信回数：52回	A	特になし	通年	甲府市在住の外国人	英・中・韓・ポ・ス	対応	—	市民課	
		2 地域拠点の整備	○情報活性化モデル地区の設置 外国人が集住している新田地区であるモデル地区に対して、地区の自主運営を支援していく。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業未開催の状況であった。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催しなかった。	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図る中で、事業の中止・延期・変更を検討する必要がある。	通年	新田地区の住民(モデル地区)	英・中・韓	対応	—	市民課	
		3 市民、ボランティア団体、関係機関等との連携	○防災に関する活動 市内の大学や専門学校の留学生を対象とした防災教室を行う。	10月15日の「留学生のための防災教室」の開催に向け、大原学園甲府校、山梨県国際交流協会、防災指導課と連携し調整を図った。	10月15日に「留学生のための防災教室」の開催に向け、大原学園甲府校、山梨県国際交流協会、防災指導課と連携し開催した。	A	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を図る中で、事業の中止・延期・変更を検討する必要がある。	通年	留学生及びその他学生	英・中・韓・ポ・タガログ・日	対応	山梨県国際交流協会	市民課	

留意事項 多文化共生
対応言語の種類
やさしい日本語
国籍や民族などの異なる人々が、文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと
英語＝英、中国語＝中(簡)・中(繁)、韓国語＝韓、ポルトガル語＝ポ、スペイン語＝ス、タイ語＝タイ、タガログ語＝タ、その他＝他
対応済＝「対応」、未対応＝「なし」、該当なし＝「—」